

### 新しい契約の約束

10:14 キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。

10:15 聖霊も私たちに次のように言って、あかしされます。

10:16 「それらの日の後、わたしが、彼らと結ぼうとしている契約は、これであると、主は言われる。わたしは、わたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いに書きつける。」またこう言われます。

10:17 「わたしは、もはや決して彼らの罪と不法とを思い出すことはしない。」

10:18 これらのことが赦される場所では、罪のためのささげ物はもはや無用です。

10:19 こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所に入るができるのです。

10:20 イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を設けてくださったのです。

10:21 また、私たちには、神の家をつかさどる、この偉大な祭司があります。

10:22 そのようなわけで、私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。

10:23 約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。

10:24 また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。

10:25 ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。

10:26 もし私たちが、真理の知識を受けて後、ことさらに罪を犯し続けるならば、罪のためのいけにえは、もはや残されていません。

10:27 ただ、さばきと、逆らう人たちを焼き尽くす激しい火とを、恐れながら待つよりほかはないのです。

10:28 だれでもモーセの律法を無視する者は、二、三の証人のことばに基づいて、あわれみを受けることなく死刑に処せられます。

10:29 まして、神の御子を踏みつけ、自分を聖なるものとした契約の血を汚れたものとみなし、恵みの御霊を侮る者は、どんなに重い処罰に値するか、考えてみなさい。

10:30 私たちは、「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする」、また、「主がその民をさばかれる」と言われる方を知っています。

はじめに

今日はこの箇所 16-17 節を中心にして、新しい契約の約束と題して話をしたいと思います。数週間前から、「神の全ての約束は全ての神の子どもたちの為」だと言うテーマについて話をしてきました。その目的は「キリストの言葉をあなたがたの内に豊かに住まわせなさい。 . . . 」という御言葉にもあるように、聖書の言葉に従って神の約束を暗記してもらいたいということにあります。覚えていなければ神の武具としてその約束を自分を守る為の信仰の大盾として使えず、サタンに振り回されて、平安ではなく恐れに支配されてしまう事になってしまいます。

先週は「神の救いの計画」と題して「それは平安と将来と希望を与える為の計画です」ということに触れ、最後に今日の箇所でもあるヘブル10:19-20を見て話を終えました。キリストはご自分の体

と血を捧げる事によって、私達が神様の前に立つ事が出来るように新しい生ける道を設けて下さいました。

今日は先週の話の続きとして、神様はどのようにしてその救いの計画を実現して下さいのかということ、そして尊い素晴らしい約束に基づいた新しい契約をもってそのご計画を私達のために保証して下さい、という事についてお話したいと思います。神様は嘘をつく事が出来ない方なので、ご自分の為には契約をする必要はありませんでしたが、私達の信仰の確信の為に永遠の契約を結んで下さっています。

#### 1. 神のご性質にあずかる者。

ペテロ第二1：4「その栄光と徳によって、尊い、すばらしい約束が私たちに与えられました。それは、あなたがたが、その約束のゆえに、世にある欲のもたらす滅びを免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。」

神様のご性質にあずかる事により、神の律法に沿った新しい思い、新しい願い、新しい価値観が自然に心の中から湧いて来るので、神様の御心に従って生きることが出来るようになります。神様に喜ばれる思いと願いと価値観が湧いて来るのです。無理して律法の規則を守るのではなく、神の愛が心に与えられてその愛の中で生きるなら、律法の基準が満たされています。

コリント第二5：17「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」

ヨハネ3:3「イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

これを経験するまで人は神様と神様の真実を何も確信する事が出来ません。もちろん、神の国に入る事も出来ません。イエス様すぐにそれを付け加えて明白にしました。

ヨハネ3:5「イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国にはいることができません。」

人間の能力や努力によって不可能な事が自分の中で実現されます。小さい子どもでも経験出来ますが、イエス様をお願いしたくない人はどんな天才であっても、経験する事が出来ません。子どものように自分を低くしてお願いするなら、経験します。

神の子どもとして新しく生まれるのは神の約束を信じる事によるのです。今日、一緒に目を通すヘブル10：16-17は要約であって完全な引用ではありません。8：8-12節に既に完全に引用されているからです。

ヘブル8:10「それらの日の後、わたしが、イスラエルの家と結ぶ契約は、これであると、主が言われる。わたしは、わたしの律法を彼らの思いの中に入れ、彼らの心に書きつける。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。」

最後の部分を見てください。「私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。」先週にも説明しましたが、最初にイスラエルに与えられた旧約聖書の約束は全て、イエス様が全人類の救い主として、十字架の死によって、全ての自分の信者のために実現して下さいました。最後の晩餐で言われた「これは私の血による新しい契約です、多くの人の罪が許されるために流されます。」という言葉からもわかるように、全ての罪が赦されて、神様の子どもとして神様の全ての約束が自分のものになります。

ヨハネ第一3：1「私たちが神の子どもと呼ばれるために、――事実、いま私たちは神の子どもです。御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょうか。世が私達を知らないのは、御父を知らないからです。」

神様のご性質にあずかるのは今です。既に神様の命を心の中で持っていますから、死んでからではなくて今、与えられているのです。

ヨハネ17:3「その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです」。

## 2. 個人的に神様を知る

ヘブル8:11「また彼らが、おのおのその町の者に、また、おのおのその兄弟に教えて、『主を知れ。』と言うことは決してない。小さい者から大きい者に至るまで、彼らはみな、わたしを知るようになるからである。」

神様とその御心を知る事に、能力や学歴などとは全く関係がありません。小さい子どもでも知る事が出来ます。これは全ての人を平等にして誰も誇る事が出来ないようにする神様の素晴らしい知恵です。逆に神様を個人的に知るために一番の邪魔物となるのは人間の高ぶりとプライドです。

マタイ18:3-4「言われた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、はいれません。」

18:4「だから、この子どものように、自分を低くする者が、天の御国で一番偉い人です。」

神様の国に入る為にも、その中で深く神様の御心を知る為にも、子どものように自分を低くすることが一番大切です。

それでも、分かりにくいなら、もっと簡単な言葉で言いますと、神様と神様の御心を深く知る秘訣は神の言葉に従う事です。イエス様は生ける神の言葉なので聞くだけではなくて、その言葉に従って実践します。その実例を見ましょう。

ルカ10:21-24「ちょうどこのとき、イエスは、聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ。あなたをほめたたえます。これらのことを、賢い者や知恵のある者には隠して、幼子たちに現わしてくださいました。そうです、父よ。これがみこころにかなったことでした。」

10:22「すべてのものが、わたしの父から、わたしに渡されています。それで、子がだれであるかは、父のほかには知る者がありません。また父がだれであるかは、子と、子が父を知らせようと心に定めた人たちのほかは、だれも知る者がありません。」

10:23「それからイエスは、弟子たちのほうに向いて、ひそかに言われた。「あなたがたの知っていることを見る目は幸いです。」

10:24「あなたがたに言いますが、多くの預言者や王たちがあなたがたの知っていることを見たいと願ったのに、見られなかったのです。また、あなたがたの聞いていることを聞きたいと願ったのに、聞けなかったのです。」

ここまででイエス様の心が聖霊によって喜びに満ち溢れて感謝の祈りを捧げた、と書いてある聖書箇所はここだけです。イエス様が特別に喜びに溢れていたこの部分を見てください。「父よ。あなたをほめたたえます。これらのことを、賢い者や知恵のある者には隠して、幼子たちに現わしてくださいました。そうです、父よ。これがみこころにかなったことでした。」

もちろん、弟子達はみな大人でしたが、子どものように自分を低くしてイエス様の言う言葉に従っただけでした。

旧約聖書の預言者たちも王たちも、知りたいと願っても知る事が出来なかった事が今、私達イエス様の信者の一人一人に現わされています。つまり、イエス様は聖書の全ての神様の約束を実現して下さっている救い主だと言うことです。唯一の条件はイエス様を信じてその言葉に従うことです。そうすれば私達はその弟子たちと全く同じように「幸いである」とイエス様に言われています。

これと同じ事を違う表現で教えているイエス様の言葉を聖書で見ましょう。

ヨハネ7:17「だれでも神のみこころを行なおうと願うなら、その人には、この教えが神から出たものか、わたしが自分から語っているのかがわかります。」

自己満足のためや、自分が偉くなりため等、そのような心で求めても知る事が出来ません。イエス様は神様の御心を行ないたいと願う人にはいくらでも神様の真実を示して下さいます。

## 3. 完全な罪の赦し。

ヘブル人10：17-18「わたしは、もはや決して彼らの罪と不法とを思い出すことはしない。」

10:18「これらのことが赦されるころでは、罪のためのささげ物はもはや無用です。」

つまり、私達は何も付け加える事が出来ません。私達がお金や修行などの犠牲を付け加える事が出来ると思うなら、神の赦しを知る事が出来ません。

イエス様は十字架の死によって実現して下さったと同時に赦し方の見本を見せて下さったのです。

ルカ23:34 「そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。」  
この完全な罪の赦しの約束は間違いなく聖書全体の一番大切な約束です。ですから、私達は正しく理解してしっかりと覚える必要があります。先ほど言いましたが、イエス様が最後の晩餐の時にご自分の血を流してこの新しい契約を結ぶと話をした時に、その目的として言われたのはこれだけです。「多くの人の罪を赦すため」です。この約束を実現する事によってイエス様は聖書全体の神の全ての約束を私達のために実現して下さいました。

イエス様が見せて下さった見本から学ぶ二つの大切な事を覚えておいてください。一つ目は、「もはや決して彼らの罪を思い出す事はしない。」の部分です。当然、全てを知っておられる神様の記憶から消えたという意味ではなく、自分から思い出して私達を責めたり、訴えたり、裁いたりする事は絶対しないという約束です。これを理解するのが何よりも大切です。サタンは兄弟達の告発者と聖書に書いてありますから、常に過去の罪を引き出して訴えて来ますが「光の天使」として変装して私達に訴えます。この約束を理解していないと神様に訴えられていると勘違いして、ずっと罪悪感と罪意識で苦しんで、神様の平安を持つ事が出来なくなってしまいます。そうなれば、精神的にやられて鬱病になってしまいます。それがサタンの策略であると聖書に書いてあります。

コリント第二2:10-11 「もしあなたがたが人を赦すなら、私もその人を赦します。私が何かを赦したのなら、私の赦したことは、あなたがたのために、キリストの御前で赦したのです。

2:11 これは、私たちがサタンに欺かれられないためです。私たちはサタンの策略を知らないわけではありません。」

「赦されない」という嘘の訴えに対してサタンの策略と言う言葉が使われています。イエス様の信者は完全な赦しを与えられています。

イエス様の十字架の祈りの見本で学ぶ二つ目の事は、何も条件が付けられていないということです。

「彼らが悔い改めるなら、お赦し下さい」ではありません。それは神様を知らないこの世の赦し方の基準です。未信者は委ねる所がないので無条件的に赦せませんが、イエス様の信者はイエス様と同じように全ての裁きを正しく裁かれる方にお任せして、無条件的に赦す事ができます。しかも、それが最高のイエス様の証になるのです。

ヨハネ13:34-35. 「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。13:35 もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」

私があなたがたを愛したように、と言うのは、自分を犠牲にするほど、無条件的に赦し合いなさいという意味です。最高の証と同時に最高の力ある祈りです。

## Conclusionまとめ

永遠の契約と言う言葉自体はこの箇所を書いてありませんが、最後の13章に書いてあります。

ヘブル13:20 「永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを死者の中から導き出された平和の神が、

13:21 イエス・キリストにより、御前でみこころにかなうことを私たちのうちに行ない、あなたがたがみこころを行なうことができるために、すべての良いことについて、あなたがたを完全な者としてくださいますように。どうか、キリストに栄光が世々限りなくありますように。アーメン。」

今日の最初の箇所に戻ると15節に次のように書いてあります。

ヘブル10:15 「聖霊も私たちに次のように言って、あかしされます。」

これは旧約聖書のエレミヤ書の31:33を引用していますが、エレミヤではなくて「聖霊も私達に次のように言ってあかしをされます」とあります。嘘をつく事が出来ない真理の御霊がエレミヤを通して約束をしています。ですから、尊い素晴らしい契約の約束は人間の言葉ではなくて神様の言葉なのです。